



Kizahashi - きざはし -

対話・改善・発信



第3回産業のまち尼崎写真コンテスト入選作品（主催：公益財団法人尼崎地域産業活性化機構 一般財団法人尼信地域振興財団）
尼崎の街は眠らない。南部工場地帯では、作業の安全を確保するために各種保安灯などを点灯している。夜も煌々と明かりが灯る。「工場萌え」という言葉もあるほどだ。尼崎公害訴訟の和解金の一部を活用して設立された尼崎南部再生研究室（あまけん）では、年一回、運河と工場街を鑑賞する運河クルージングを実施。特にナイトクルージングは人気が高い。



大阪国際空港周辺緑地として航空機騒音の軽減と周辺地域の生活環境の改善を目的として整備された。約9ヘクタールの面積を有し、朝9時より夜9時まで開園、年中無休・入園料無料、子供から大人まで楽しめるつくりとなっている。目の前で飛行機が離着陸の様子は圧巻。北エントランス「大空の丘」が絶好ポイント。また南側「翼の丘」では車に乗ったまま滑走路が見渡せる丘の上駐車場もある。写真は「星空の丘」。夜になるとスターライトパス（星空の小道）と名付けられた130メートルに及ぶ園路が幻想的な照明で浮かび上がる。（写真提供：伊丹市 市民自治部 環境政策室 みどり公園課）



甲山は、六甲山の南東に位置するお椀を伏せたような凸凹のないきれいな形をした山で、西宮市民から親しまれている。標高309メートル。甲陽園方面又は仁川方面どちらから登っても住宅街を抜けたあたりで、大阪平野が一望できる。ファミリーでのピクニックに最適。山麓には、83ヘクタールに及ぶ甲山森林公園があり、野外彫刻を楽しみながら森林浴をすることが出来る。標高がそれほど高くないことと、大阪平野の光の量が多いことで夜景スポットとしてはかなり有名なところである。（写真提供：西宮観光協会）



平成24年8月3日(金)・4日(土)の二日間、宝塚市・宝塚国際観光協会は、宝塚観光花火大会～99年目の夏“輝き”～を実施する。今年は第99回、100年目へのカウントダウンテーマは「心に咲く花火の競演“いのちの輝き”～えがお・なみだ・きぼう・きずな～」。高度なシンクロ演出が可能なコンピューター点火と暖かみのあるアナログ点火のハイブリッド演出で花火と音楽の競演が楽しめる。また、昨年に引き続き、東日本大震災被災地支援の一環として、福島県須賀川市釈迦堂川全国花火大会への支援も行う。開催時間は、午後7時45分～午後8時30分。（写真提供：宝塚市 産業文化部 宝のまち創造室 観光企画課）

【地域と行政書士と】 尼崎市長ロングインタビュー

尼崎市長ロングインタビュー

～「まず自分から」を貫いて～

産業都市といわれる尼崎市。昨今、市財政の状況や中小企業を取り巻く環境は厳しい。平成22年11月の尼崎市長選挙で初当選し、現在就任2年目の稲村和美尼崎市長に聞いた。

モットーは「まず自分から」

自分の性格を、「非常に前向き、等身大の庶民派、立ち直りが早い」と話す。水が半分入っているコップを見て、半分しか入っていないと思うのではなくまだ半分も入っていると思うタイプ。そして、モットーは「まず自分から」。何かを変えていこうとするときは、「まず自分から」。このモットーと初心をいつも忘れないようにしているという。

政治家をめざすきっかけは、阪神淡路大震災での経験だった。当時は神戸大学の学生。奈良の自宅から通学していた。大学は長期休講となり、突然何もすることがなくなった状況に最初はとまどったという。

「まず、神戸に行ってみよう。私にできることが何かあるかもしれない」。神戸には、たくさんのボランティアが集まっていた。東灘区の小学校の避難所でボランティアに取り組んだが、ボランティアという言葉自体が身近ではなかったあのころ、集まったボランティア自身がどう動けばいいのかわからず、右往左往していた。「ボランティアを適切に配置するコーディネートが必要だ。それも、長期にわたって機能するしくみが必要だ」。そこで、「神戸大学総合ボランティアセンター」を設立し、代表に就任した。「神戸大学総合ボランティアセンター」は、現在もお高齢者や障がい者などを支援し、積極的に活動している。

1つの問題に対して、答えは1つではない

ボランティアと聞くと自己犠牲をイメージする人が多いかもしれない。そう思われることに複雑な気持ちを抱いていた。避難所では、さまざまなことが求められる。車椅子の方が介助者を探していた。さっそくビラなどを配り募集するが、なかなか見つからない。結局、介助の



経験は全くなかったが自らがやることに。ここでも、「まず自分から」であった。

「この車椅子の方とは、よくけんかもしました」と笑う。介助者としてではなく、友人として接していたからだ。複雑な気持ちも和らいだ。しかし一方では、それを望まない、必要以上に介入してほしくないという障がい者もいる。人によって、介助者に求めるものが違うことを知った。求められる形は、人それぞれ1つではない。

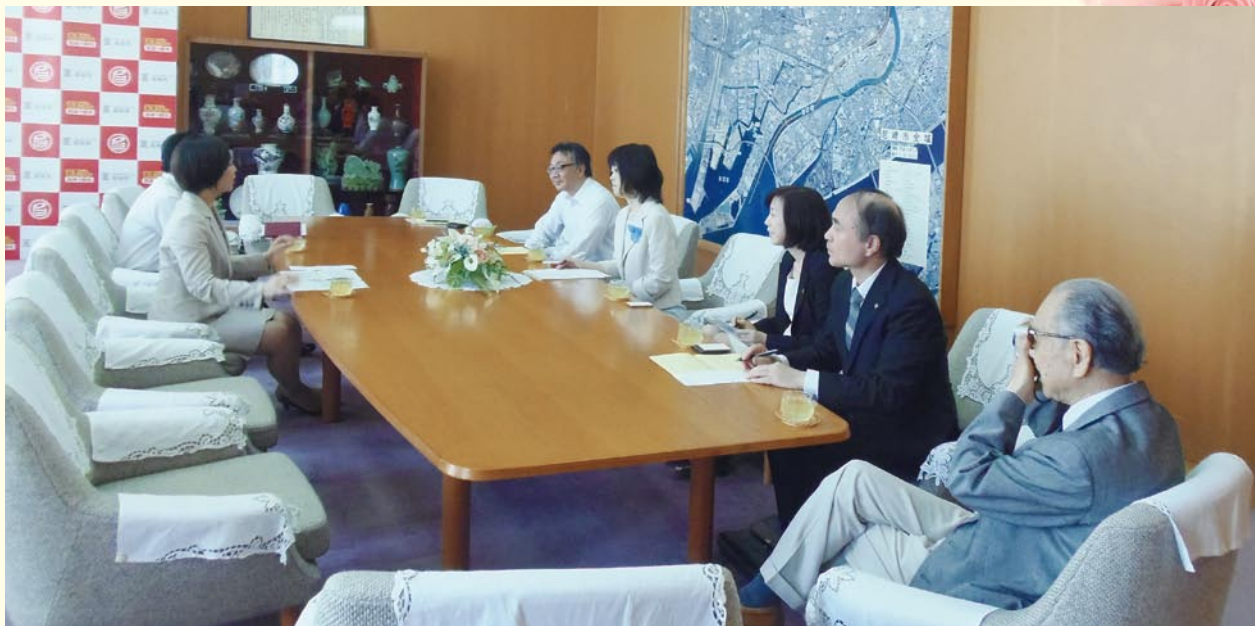
「市民自治のまち」をめざして

自分ひとりだと、答えは1つしか出ない。ほかの人には、ほかの人の違う意見がある。正解だと思っていた自分の答えも、ほかの人の意見を聞くことによって変わってくる。皆で一緒に解決することが大切なのだ。「わたしたち」の問題は、「わたしたち」で解決しよう。「市民自治」の考え方に行き着いた。

「神戸大学総合ボランティアセンター」の運営も、この考え方でうまく機能した。人に押し付けられたルールには文句が多い。自分たちで話し合って作ったルールはよく守られる。ルールの修正もスムーズにできる。

自分の意見を突き通すのではなく、ほかの人の意見

【 地域と行政書士と 】 尼崎市長ロングインタビュー



も受け入れて自分を変えることで、いい結果が出た、皆でがんばってよかったという成功体験が、学びになったという。阪神淡路大震災がなければ、できなかった学び。「学び」という言葉を強調する口調が、そのときに得たものの大きさを物語っていた。

この学びを子どもたちにもと、「シチズンシップ教育」を実施する予定だ。まずは生徒会を中心に、子どもたち自身に決定権を持たせて、学校運営に積極的にかかわることを目指すプログラムに取り組む。「市民の皆さんも、公民館の運営など、まちづくりにどんどん参画してほしい」と「市民自治のまち」を目指す。「賛成とも反対とも言わず黙っているのは、中立のように見えるが実は違います」と厳しい。どんな意見も無駄にはならない。皆を変える力があるかもしれないのだから。黙って自分の胸にしまっておくのではなく、表に出してこそ意義があるのだ。

尼崎市長に就任して

「市長に就任して驚いたことは？」と聞くと、「忙しさは想像以上。仕事も多種多様で驚いた」。尼崎市長就任前は、兵庫県議会議員を2期務めたが、やはり市長となるとまるで違うのであろう。「市長室の中に専用のお手洗いがあるんです。専用のお手洗いなんてもったいないなと思っていたのですが、訳がわかりました。時間がないんです。すぐ外のお手洗いに行く時間すら。意味のあるお手洗いだったんです」。いかに忙しいか

がわかるが、「市長の仕事は、やりがいのある仕事。私の役割は、職員が職責を最大限に発揮できるようにすることです。自分ひとりではできない仕事です。職員の方々はもちろん、ふつうならお会いできないような様々な分野の人ともかかわることができるのが喜びです」と、激務をもともしない様子で楽しそうに話す。見た目以上にパワフルだ。

「オンとオフがないのが政治家。普段の生活の中で悩んだことは、すべて政治の役に立ちます。どんなときも頭の片隅で、仕事のことを考えています」。それでは、気が休まるときがないのでは？「難しい困難な案件を抱えているときでも、家に帰ったら家族のために食事を作ります」。夫と娘の話になると、表情ががらりと変わる。家族と過ごす時間が、つかの間の休息となり、エネルギーの源となっているようだ。

産業都市・尼崎市

昨今の中小企業を取り巻く状況について聞くと、「元気がないと思われがちだが、全部の企業にあてはまるわけではない。すごく元気な企業も多い」との答え。時代の変化に対応できている企業とできていない企業とで、大きく差がついている。変化に機敏に対応しないと生き残れないのだ。全体を対象とするカンフル剤的な支援は、一時的には良くなるがその後が続かない。財政が厳しいこともあり、限られた財源を効果的に使うには支援対象を絞ることが必要だ。新しいビジネスモデルや

【 地域と行政書士と 】 尼崎市長ロングインタビュー



新しい技術でもって、変化に対応しようとしている企業を積極的に応援するという。

「具体的にはどのような企業を?」と問うと、「環境を考える企業」ときっぱり。稲村和美市長は、環境と産業の共生をめざす「尼崎版グリーンニューディール」を掲げている。尼崎の産業界5団体とともに平成22年11月29日に発表した「ECO未来都市」宣言にも賛同している。工場や公共施設跡の広大な空き地に、エコ住宅を作る計画も進んでいる。今後、省エネを誘導するためのルールやしきみを作ったり、エネルギー生産技術を持つ企業を支援していきたいという。

産業だけではない尼崎の魅力

生粋の尼っ子ではない稲村和美市長だが、尼崎は、かざらない、気取らない、そして包容力のあるまちだという。事実、奄美大島や高知、鹿児島などの県人会があり、在日コリアンの方も多い。この多様性が魅力で、尼崎が大好きに。

イメージアップと活性化のために、「シティプロモーション」に力を入れている。産業都市というイメージが定着しているが、尼崎は歴史のあるまちだ。古くから、東西のかなめ、交通の要所として発展してきた。江戸時代、船で運ばれた荷は尼崎で下ろされ、そのあと川を上って京都へ運ばれた。城下町として栄えた当時の面影が残る寺町を案内してくれるボランティアガイドも活動している。

「最近やっと、市域面積が50km²になったんですよ。湾岸部の埋め立てによる面積の増加だという。市域全域写真の湾岸部を指差して、「このあたりにも、見所がありますよ」。一押しを聞くと、「尼崎運河クルージング」。

大好きな尼崎を語る稲村和美市長は、とても誇らしげで尼崎愛が強く伝わってきた。

東日本大震災の被災地支援～おわりに

尼崎市は、東日本大震災に対して様々な支援を行っているが、とりわけ宮城県気仙沼市とパートナーシップを結び支援している。気仙沼市では、建物の解体作業がいまだ終わらず、区画整理事業もまだまだこれからだ。職員を長期派遣し、継続的な支援を行っている。これを受けて、市民も気仙沼市との交流を深めている。気仙沼産の物品を多く扱うようになったり、タイアップ企画を催したり、市民レベルの支援も盛んだ。

最後に行政書士へ期待することを聞いた。「何もかも行政で行うことは無理。市民が、まず最初に相談できる窓口になってほしい。弁護士に相談するのは、いろいろ敷居が高いでしょ。市民の身近な相談者として、これからも連携していきましょう」。

予定時間を越えて、インタビューに答えてくれた稲村和美市長。絶やさない明るい笑顔とまっすぐに見る大きな目が印象的だった。「いつも、もう少しゆっくり話せばと言われるのだけど、ついマシンガントークになってしまうのよ」と話すが、その勢いある口調にエネルギーを感じ、人は引き込まれるのであろう。市民が自分たちの手でわがまちをつくる。まずは、市政に関心を持ってもらうことが肝心だ。稲村和美市長の情熱に触れれば、無関心な人も変わるはず。期待したい。



取材後の記念撮影

(左より) 田中保子 副支部長、大口晋 支部長、稲村和美 市長、酒井ひろみ 理事、秋山加代 本会通信員、林健仁 理事、高見昭裕 監事

活動 報告

第53回 阪神支部定期総会

平成 24 年 4 月 29 日（日・祝） 尼崎市のホテル「ホップイン」アミングにて、第 53 回 阪神支部定期総会が開催されました。堀川秀男副支部長の開会のことば、大口晋支部長のあいさつがあり、今後のねらいとして行政書士法の周知徹底と行政書士制度の普及を図ること、また社会の変化に対し会員及び市民の要請に適切に応えること等が定義されました。来賓の代表として田中浩二本会会長からは、被災地への思いとして継続的な支援が行政書士としての使命であることなどが語られました。会員総数 351 名のうち、出席者 223 名（そのうち委任状出席 116 名）、適法に定足数を満たしており総会成立が宣言されました。（最終確定出席者は、委任状出席 117 名を含む 237 名）

議長に平野雅之会員、副議長に奥野さおり会員、記録人に増田宗隆会員及び本田圭会員、署名人に高路瑞穂会員及び灰塚彰会員が選任された後、議案の審議に入りました。

- 第 1 号議案 平成 23 年度会務報告及び事業実施報告の承認の件
- 第 2 号議案 平成 23 年度収支決算報告承認の件
- 第 3 号議案 平成 24 年度事業計画（案）の件
- 第 4 号議案 平成 24 年度収支予算（案）の件
- 第 5 号議案 兵庫県行政書士会阪神支部細則改正（案）の件

各議案については、執行部から大口支部長、堀川副支部長、田中保子副支部長、岩井伸康会計担当理事から説明があり、それぞれの質問に対して応答・説明がなされました。

自由闊達な審議を踏まえてそれぞれ賛成多数で承認可決され、議事は滞りなく終了しました。

閉会後は懇親会が催され、美味しい食事とお酒に舌鼓を打ちながら、新入会員の紹介、会員及びご来賓の方々との温かい交流の輪が広がり、より一層の親睦が深められる一日となりました。



ご挨拶
阪神北県民局長 常松 貞雄 様



支部総会記念品
日本手ぬぐい 友仙 日の出風（気仙沼市）
※水野利文（西宮市）会員提供

支部総会記念品について水野利文会員（西宮）のコメント
拙宅の玄関のニッチに季節に応じた日本手拭いを飾っていましたが、このたび復興の願いを込めた新しい仲間が加わり、温かい気持ちになります。いい記念になりました。

活動 報告

地域意見交換会を実施、 地元会員の意見を広く聴く。

- ①兵庫県行政書士会阪神支部の今年度の事業目的の理解を深め効果的に事業を行い、
- ②行政書士制度の理解と活用を勧めるための地域戦略の材料とし、
- ③地域の交流を進めることで会員の資質向上を図る目的で、

3つの地域に分かれて「地域意見交換会」を開催しました。

初めての試みでしたが、小さな規模にすることでより意見の言いやすい環境となり、
活発な提案が出席会員から出され、地元会員ならではの情報も収集でき、好評のうちに終わりました。

【芦屋市・西宮市会員対象 地域意見交換会】

日時：平成24年5月22日（火）午後3時30分～5時30分

場所：西宮市大学交流センター

特に「法の日無料相談会（芦屋市にて実施予定）」「秋の企画」
「西宮商工会議所との連携」について意見交換

【尼崎市会員対象 地域意見交換会】

日時：平成24年5月29日（火）午後3時00分～5時00分

場所：尼崎市立小田公民館

特に「行政書士記念日 市民講座」「秋の企画」について意見交換

【宝塚市・川西市・伊丹市・猪名川町会員対象 地域意見交換会】

日時：平成24年5月30日（水）午後3時00分～5時00分

場所：庵 川西ホール

特に「法の日無料相談会（宝塚市にて実施予定）」
「無料相談会（川西市・宝塚市・伊丹市にて月1回実施中）」
「秋の企画」について意見交換



尼崎市会員対象 地域意見交換会



宝塚市・川西市・伊丹市・猪名川町会員対象 地域意見交換会

映画と行政書士と

ペンネーム ^{ぎょうせい} 暁星 ^{しよし} 処士 (西宮市)

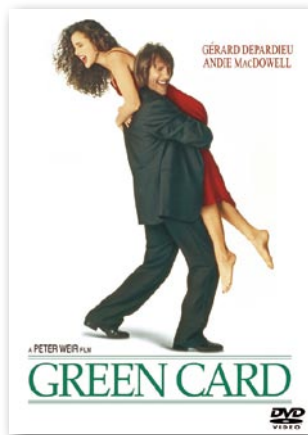
「恋はいつも嘘から始まる」(1986年 香港映画 93分)

カナダに居る恋人ピーター(アルフレッド・チョン)と永住権を取るためにジェイド・リー(マギー・チャン)は、カナダ在住の永住者ポー・チン(サモ・ハン・キンポー)と偽装結婚をする。1997年の香港の中国返還が迫ってきた時の移民ブームを扱い、移民局の調査官、元妻とその恋人や親族だけでなくギャングまで巻き込んだアクション・ラブコメディ。アルフレッド・チョンの監督出演、「花様年華」「宗家の三姉妹」「ラブソング」等の香港映画の看板女優マギー・チャン、ブルース・リーの後の香港カンフー映画を支えたサモ・ハン・キンポーが出演しているだけに格闘シーンも満載。

「グリーンカード」(1990年 米国映画 107分)

ニューヨークの園芸家ブロンディ(アンディ・マクドウェル)は管理組合の規定の厳しい温室つきアパートの居住者になるために、フランス人作曲家ジョージ(ジェラルド・ドバルデュ)はアメリカでの永住者カード「グリーンカード」を手に入れるために偽装結婚をする。全ての事を話せない恋人や両親、疑り深い移民局の調査官や不審な目線のアパートの隣人とお洒落な関わりを交え、美しいセントラルパーク周辺やしっとりした温室を舞台にした映画。「いまを生きる」のピーター・ウィアー監督・製作・脚本、アンディ・マクドウェルは「セックスと嘘とビデオテープ」でスターになったばかり、ジェラルド・ドバルデュはこの作品がハリウッド映画初主演でそれぞれに気合の入った作品。

共に偽装結婚をする側から描かれた作品でラブコメディに仕上げてあり、移民局の調査官との応酬や周りの人たちとの悪戦苦闘ぶりを気楽に楽しむことができます。



「グリーンカード」DVD ¥1,890-
発売元:ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン

「正義のゆくえ」(2009年 米国映画 113分)

9.11以後のアメリカの様々な不法滞在者(1100万人以上いと推定される)と移民税関捜査局の捜査官マックス・ブローガン(ハリソン・フォード)たちの取締りを扱った社会派サスペンス。メキシコからの不法入国者、ナイジェリア難民の子供やバングラデッシュ、イラン、韓国などの移民家族の苦悩が余すところなく描かれています。ウェイン・クレマー監督自身が移民一世で、弁護士デニス・フランケル役のアシュレイ・ジャッドも難民キャンプでの活動を行っており、撮影スタッフにも帰化した人が数人いて移民問題の当事者達が作り上げた作品でもあり重い作品です。

日本では、中長期滞在者の在留状況を継続的に把握するために今年の7月9日から新しい在留管理制度に変わり、外国人登録制度は廃止されました。在留期限の上限が5年に延長されたり、出国日から1年以内の再入国には再入国許可手続が原則不要となったりと適法に在留する外国の方々には利便性の向上も盛り込まれています。

先の2作品は、移民局は融通のきかない役人の典型として強調して描かれていますが、「正義のゆくえ」では、捜査官の現場の難しい立場も垣間見え、米国の帰化の宣誓式の場面は、とても象徴的に映し出されています。

前回の「ターミナル」で少し触れましたが、出生地主義をとる国で生まれた子供はその国の国籍を得ますが、本来血統主義である中国で、例外的に一国二制度の中で管轄されている香港の場合、越境出産が問題視されています。これは、英国からの返還後も中国本土からの移住が制限されている香港で出生すると永住権が与えられるという制度を利用したものです。香港政府は来年からの越境出産を認めない方針で2001年の香港の最高裁にあたる終審法院の判例と相容れないため、今後の香港基本法の解釈が注目されています。

いずれの作品も、法律や習慣の異なる外国で暮らすことの難しさが、一部分ではありますが判りやすく演出されていて、お勧めです。

読者プレゼント (兵庫県行政書士会阪神支部会員限定)

映画「グリーンカード」DVDを抽選で1名の方にプレゼントします。

右の応募券を切り取り、ハガキに①住所 ②氏名 ③電話番号 ④行政書士会会員番号⑤支部報きざしで最も気に入った記事 ⑥支部報きざしを記入の上、兵庫県行政書士会阪神支部へ送付してください。8月20日必着です。兵庫県行政書士会阪神支部ビバパーティ会場にて抽選予定です。当選者には発送(または手渡し)をもってお知らせします。

DVD
応募券

江戸落語と行政書士と

ペンネーム 立花亭志ん京（芦屋市）

「弱ったねえ。行政書士業務と関連のある落語について、なんか書けというご下問なんだが、『代書屋』はモチロン、煩雑な手続きを扱った『ぜんざい公社』なんて斬も、先方はすでにご案内ときたモンだよ。誰かいねえかな？ んっ！ 訳知りのご隠居がいたよ！ どうせヒマだろうし、行ってみよ」と

立花：「こんちわ、ご隠居さんいらっしゃいますか？」
ご隠居：「おう、立花さんじゃないか。イイところに來ましたね。まあこっちイお入りよ」

立花：「ヘイヘイ、ごめんなさいよ」
ご隠居：「ちょうどお八ツの時分だからね、サアおあがり」
立花：「じゃあいただきます。んっ？ ご隠居、この茶菓子はなんてんです？」

ご隠居：「ナニって？ こいつはただの羊羹じゃアないか」
立花：「エッ？ この薄いペラッペラなのが羊羹？ あっしは水羊羹ってエのは聞いたことはありますけどね、こいつアさしずめ紙羊羹、いやさ羊羹の薄造り！」

ご隠居：「嫌ならとっととお帰りよ。ハイさようなら！」
立花：「そいつは勘弁して下さいヨ。だいたいあっしはご隠居にお尋ねしなきゃならねエ用があるンでさア」
ご隠居：「ホウ、その御用の向きてエのはなんだい？ ナニナニ、かくかくしかじかで、フムフムなるほどねエ」

立花：「てなわけでした、チョイとご隠居のお智恵をご拝借願いたいンでさア」
ご隠居：「そういうことなら三日も前に文を遣わせてだね、これこれこういう次第で何時何日伺いますという

のが、お前さんスジじゃないかね？」

立花：「ははーん、ご隠居さんホントは知らねえんだ！」
ご隠居：「冗談いっちゃいけませんよ。ウーンと……………そうだねえ、落語と法律関係というのならどうだ？」

立花：「じゃあそいつでお願いしやす」
ご隠居：「まず離婚や再婚というのなら、『子別れ』がある。親子関係を法的に断つ勘当だったら、遊蕩の末に勘当された若旦那の落ち着いた先での『湯屋番』や『唐茄子屋政談』も面白い」

立花：「ほうほう」
ご隠居：「件の昭和33年3月31日以前というなら廓嘶だ。『明烏』『お直し』『品川心中』『三枚起請』『五人廻し』なんかには、人間の悲喜交々が垣間見える」

立花：「ふんふん」
ご隠居：「さらに廓の中での債務不履行なら『居残り佐平次』『付き馬』も外せない」

立花：「色気から離れたところで、他にはありますか？」
ご隠居：「成年後見というわけでもないが、『孝行糖』なんかの与太郎嘶だと、町役などが与太郎の後見人のような役割をしていたことがうかがえるね」

立花：「いやア、探せばみつかるモンなんすねエ」
ご隠居：「それはそれで、立花さん。落語が仕事で役に立つことはあったのかい？」

立花：「仕事で使えることはありませんがネ、まあ勤め人の時分、先方に謝罪に行き詫言を入れる段では、商家の旦那衆の丁寧な言葉づかいや所作なんかでずいぶん助かりやした」

ご隠居：「他に変わった話はあるのかい？」

立花：「そうさね、エーと……………仕事じゃなくて試験のこのならございますヨ」

ご隠居：「試験と落語？ 何だいそりゃ？」

立花：「忘れもしません、いつかの試験の設問に金銭債務の不履行における損害賠償額の利率の規定をあげて、金銭債務の督促もとい特則をあと二つ述べよとあった」

ご隠居：「答えは、債権者は損害の証明が不要であり、債務者は不可抗力をもって抗弁できない、だろ？」



新宿末廣亭の寄席風景

会員投稿

特集 休日と行政書士と

立花：「流石によুকご存じで。だが当方不勉強というヤツで、どうにも思い浮かばないン。なんとかしてマスを埋めようと、無いアタマ絞って唸っていたら、『掛取り万歳』が閃いた!『相手の趣味に合わせた言い訳をして、借金を踏み倒したり、返済を先送りすることができる。』ってね」

ご隠居：「それで試験の結果はどうなった?」

立花：「面目ねえ話だが、言い訳無用。当年の合格は踏み倒されて、翌年度にまで先送りされました」



新宿末廣亭

スカッシュと行政書士、2足のわらじ

田中 大作（宝塚市）

皆さんは、「スカッシュ」というスポーツをご存じでしょうか。最近ではテレビや新聞などのメディアでも紹介されることが増えてきたスポーツで、「2人でプレイするテニスの壁打ち」のようなスポーツです。一見、簡単なスポーツに見えますが、とてもハードなスポーツで、運動量はテニスの3倍とも言われています。

私はかれこれ14年間プレイしていますが、全身がボロボロです（苦笑）。プレイだけではなく、プロコーチとしても12年間活動しており、今でも平日夜間と日曜日は数か所のスポーツクラブで指導に当たっています。コーチといえども、ただ突っ立っているだけではなく、生徒と一緒に動くので、これまた体を酷使します（さらに苦笑）。元々は、「もう体が持たないから、スポーツを仕事にするのはやめよう。」と思って行政書士を志したぐらいです。しかし、行政書士として活動を始めてからスカッシュを見つめなおしてみると、スカッシュのプレイとコーチの経験が思いの外、行政書士業務に役立っていることがわかってきました。

まずは「戦略性」です。スカッシュは「コート上のチェス」と言われるぐらい、先を読む力が求められます。行き当たりばったりで球を打つのではなく、相手の動きや心理を読みながら、自分に負担のかからないコースを選んで打つ必要性があるため、体を動かしながらでも頭は常にフル回転です。

次に「忍耐強さ」です。上記のように、スカッシュはとにかくハードなスポーツです。試合中に足が痙攣すること

も多いのですが、それでもプレイを続けなくてはなりません（外傷ではないのでプレイ続行なのです。ヒエ〜）。こうなると勝敗を決するのは精神的な要素、すなわち「忍耐」が強く影響してきます。

そして最後に「人脈」です。スカッシュをされる方には、個人事業主や会社経営者の方が多く、「お〜、行政書士になったのか。何かあったときは、お願いするわ。」と声をかけてもらえることが多くなりました。行政書士になるまでは、「皆、平日の早い時間からスカッシュばかりやっているな〜。仕事はどうしているんだろう?」と思っていましたが、やっと謎がとけました（笑）。

思えば、スカッシュを続けていたおかげで行政書士を目指し、合格して開業できたわけです。自分の成長のためにも、恩返しという意味でも、もう少し体の限界に挑戦しながらスカッシュを続けようと思います。



写真提供：プロスカッシュ

地域活動と行政書士と

恵須川 満延 (川西市)

結婚をし、西宮市で7年、吹田市で6年ほど過ごし、息子の中学入学を待って独り暮らしの母の住む川西の地に戻って来たのは平成元年の早春だった。

亡父が色々と世話好き、お役好きだった性もあり、「恵須川」と云う変わった名前は、地元では結構知られていて、直ぐにこの土地になじんでいった。

終の住みかとなるだろうこの地をもっと知ろうと、休日ともなると、近くの山々に出かけた。やがてそんな事が縁で知り合った仲間と、地域の自然観察を目的としたグループを立ち上げることになる。元々は家庭に閉じ籠りがちな子供達を出来るだけ自然の中へ連れ出そうというのがその目的だったのが、蓋を開けてみると、集まって来るのは60歳前後の方々ばかり。それも元氣印の。

多い時は会員数約150人。毎月1回発行するB5版18頁の会報は今月(7月)で233号となり、市役所の各部署、市内の小・中・高校、公民館、県民局等々に約1,000部配布している。

当初は毎月第2土曜日だけの開催行事だったのが、今では年間120～130回程の行事となり、当初はまだ若かった我々世話人も多くは高齢化し、アップアップ。若手後継者の入会を待っているのだが・・・。

それでも、ワイワイ、ガヤガヤと楽しい。こんな素晴らしい仲間に出会えていなかったら、俺の人生はどうなっていたのだろうかといつも思う。

多くの出会いが、多くの仲間を作り、多くの仕事の縁になる。色々な相談事が次々と入ってくる。いつも時間に追われ、忙しい、忙しい。

朝は、7時半に事務所にきて、夜は7時半頃になると駅前居酒屋。ここでも仕事が入ってくる。前にも書いたが、平成7年の開業以来、土・日曜日でも休んだことはなく、休日は、元旦の午前中だけ。

営業、営業と歩き回った時もあったが、今は、遊び仲間が仕事を運んで来てくれる。有難いことだ。つくづくそう思う。



2012.7.2
223号
川西自然教室
【事務局】川西市南郷町5-25 電話 072-933-1293
【発行所】川西市 印刷 編集 平田 昌弘

7月14日(土) 夕涼みナイトワーク(一庫山～麓化吊り橋) 千軒キャンプ場

7/14(土) 中止
山下駅 17:45
山下駅 17:50のバスにのり、バス代 170円
山下駅 21:15
千軒 20:56のバスにのり、バス代 230円
会費 2000円(バス代は別) 千軒 2000円(バス代は別) 千軒 2000円(バス代は別)

今回は万歩計で5000歩以上と平地なコースです。山下からバスに乗車し、山下駅。一庫山ダム池を行き、新山トンネル手前をお祈り園まで進み、麓化吊り橋まで歩きます。下山時(6/19)にはクマノミズキが満開で甘い香りがします。アカメガシワ、ムラサキシキブも満開中。麓化吊り橋付近でユキノキが3年ぶりに白い花を咲かせています。11月頃に遊歩するよう遊歩の管理事務所にお知らせ。ここ夕涼みとなりますが、虫が多いので虫除けが必須でしょう。昨年は千軒キャンプ場(トイレあり)付近で20数頭のマダボタルを観望しましたが果たして今年(は)どうでしょうか? (田中 昌弘)

7月14日は 芋生川たんけん隊 川西でいちばんきれいな芋生川で川あそび、魚やカエルの生態の観察、水遊び、水たまりで遊ぶ。くわしくは24Pをご覧ください。

会 務 報 告

会 務 報 告

① 無料相談会

1. 川西市(川西市役所)

年月日	相談員
平成 24 年 4 月 10 日	恵須川満延
平成 24 年 5 月 8 日	恵須川満延、田中一行
平成 24 年 6 月 12 日	恵須川満延、藤崎陽子

3. 伊丹市(伊丹商工プラザ)

年月日	相談員
平成 24 年 4 月 17 日	角田幹夫、清水友子、高橋伸朗
平成 24 年 5 月 15 日	小笹淳、酒井亜矢子、角田幹夫
平成 24 年 6 月 19 日	小笹淳、清水友子、角田幹夫、中西良博

2. 宝塚市(市立勤労市民センター)

年月日	相談員
平成 24 年 4 月 16 日	宮越廣志、山口忠士、高崎修一、飯野光代
平成 24 年 5 月 21 日	石川功、今里正文、高崎修一、永井弘行
平成 24 年 6 月 18 日	石川功、飯野光代、門田安正、山本秋雄

② 研修会、レクリエーション等

年月日	内 容	場 所	出席者
平成 24 年 4 月 29 日	第 53 回定期総会	ホテル 「ホッポイン」アミグ	合計出席者 237 名(出席者 120 名、委任状出席 117 名)
平成 24 年 5 月 22 日	地域意見交換会 (芦屋・西宮)	西宮市大学交流センター	大口晋支部長、堀川秀男 副支部長、田中保子 副支部長、 岩井仲康会計担当理事、梶原智之理事、酒井ひろみ理事、 鈴木善治、中村馨乃信、橋本有史、早川雄一、松村康弘、 柳康夫、吉見昌之、赤沼有季
平成 24 年 5 月 29 日	地域意見交換会 (尼崎)	尼崎市立小田公民館	大口晋支部長、堀川秀男 副支部長、田中保子 副支部長、 岩井仲康会計担当理事、丸山誉高理事、林健仁理事、 西田春一理事、小西亮介理事、前原政美、上辻靖夫、 丸田幸雄、小山博三、松浦靖典
平成 24 年 5 月 30 日	地域意見交換会 (宝塚・川西・伊丹・猪名川)	庵 川西ホール	大口晋支部長、堀川秀男 副支部長、田中保子 副支部長、 石川功理事、恵須川満延理事、山本千恵理事、 柏崎孝二理事、今里正文、稲正陽、右手伸八、大西康裕、 岸本紀男、北上雅弘、近藤泰弘、酒井亜矢子、高崎修一、 角田幹夫、箱谷義和、藤崎陽子、山本秋雄

③ 渉外、会議等

年月日	内 容	場 所	出席者
平成 24 年 4 月 5 日	兵庫県阪神南県民局長訪問	兵庫県阪神南県民局	大口晋支部長、田中保子 副支部長
平成 24 年 4 月 6 日	平成 23 年度期末会計監査	阪神支部事務所	大口晋支部長、堀川秀男 副支部長、岩井仲康会計担当理事、 高見昭裕監事、縄崎博巳監事
平成 24 年 4 月 8 日	2012 いながわ桜まつり 提灯参加	日生中央駅～ 猪名川町役場	
平成 24 年 4 月 9 日	兵庫県阪神北県民局長訪問	兵庫県阪神北県民局	大口晋支部長、堀川秀男 副支部長、田中保子 副支部長、 足立又男 伊丹支部長
平成 24 年 4 月 11 日	第 1 回 正副支部長会	支部事務所	大口晋支部長、堀川秀男 副支部長、田中保子 副支部長、 岩井仲康会計担当理事
平成 24 年 4 月 12 日	第 1 回 理事会	尼崎市立小田公民館	大口晋支部長、堀川秀男 副支部長、田中保子 副支部長、 岩井仲康会計担当理事、恵須川満延、西田春一、小笹淳、 山本千恵、石川功、林健仁、酒井ひろみ、前島文子、 小西亮介、梶原智之、柏崎孝二各理事
平成 24 年 4 月 21 日	総会打ち合わせ	支部事務所	大口晋支部長、田中保子 副支部長、岩井仲康会計担当理事、 平野雅之、奥野さおり
平成 24 年 4 月 21 日	総会打ち合わせ	ホテル 「ホッポイン」アミグ	大口晋支部長、田中保子 副支部長、岩井仲康会計担当理事、 平野雅之、奥野さおり
平成 24 年 5 月 7 日	法の日無料相談会 打ち合わせ	アピアさかせがわ	大口晋支部長、田中保子 副支部長、石川功理事
平成 24 年 5 月 7 日	西宮商工会議所 打ち合わせ	西宮商工会議所	大口晋支部長、梶原智之理事
平成 24 年 5 月 22 日	広報部会	西宮市大学交流センター	田中保子 副支部長、酒井ひろみ理事、林健仁理事、 秋山加代 本会通信員
平成 24 年 6 月 14 日	尼崎市市長訪問	尼崎市役所	大口晋支部長、田中保子 副支部長、酒井ひろみ理事、 林健仁理事、秋山加代 本会通信員、高見昭裕監事

ミニコラム

エンディングノート

いざというときに、最期まで自分らしく生きるための老い支度として、「エンディングノート」が注目されている。遺言ほど堅苦しくないが法的効力がないので、遺言とあわせて活用するのもいいのではないだろうか。

エンディングノートは、自治体やNPO法人など様々なところから書籍やCDなどで配布・販売されており、また、エンディングノートを預かるサービスを提供しているところもある。

堺市南区は、開発後40年以上経つ泉北ニュータウンを抱え、集合住宅が全世帯の7割以上を占めており、年々増加する高齢者の孤立化が深刻な課題となっている。地域福祉課では、平成22年3月より「エンディングノート 私の老い支度」を配布している。



堺市南区版
「エンディングノート 私の老い支度」

http://www.city.sakai.lg.jp/minami/fukushi/fukushi_page.php?eid=00020

なお、在庫が僅かなため、近日中には配布できなくなる予定。堺市南区地域福祉課担当者は、ホームページ上のPDFファイルを印刷して利用してほしいと呼びかけている。

会員の動向

3月退会	中村浩（宝塚市）	中野正治（西宮市） 雑賀慎（尼崎市）
4月新規入会	小口敦史（伊丹市） 三坂友章（宝塚市）	右手伸八（宝塚市）
4月転入	横山俊夫（西宮市、東京会より）	6月新規入会 美馬一仁（芦屋市） 篠原和孝（西宮市）
	今井康介（西宮市、神戸支部より）	6月退会 楠木裕子（尼崎市）
5月新規入会	山本康司（西宮市） 黒田信夫（西宮市）	

会費自動振替ご協力をお願い

支部事務の業務効率化のため会費については、会員ご指定の口座からの自動引き落としの方法の御協力をお願いしています。

現在、支部指定の払込通知票を用いた振込送金の方法を選択している会員で、自動引き落としに御協力いただける方は、事務局（06-6426-5123）までお問合せください。

Facebook ページで「いいね!」を押していただいていますか?

阪神支部ではFacebook ページを開設し、地域情報をほぼ毎日発信しています。Facebook に登録後、「あなたの街の法律家」兵庫県行政書士会阪神支部で検索の上、「いいね!」を押してファンになってください。

なお、閲覧だけであればFacebook に登録しなくても見る事が出来ます。一度のぞいてください。

阪神支部 Facebook ページ <http://www.facebook.com/gyoseisyoshi.hyogo.hanshin>



投稿大歓迎!

相続や遺言にかかわる原稿を
特にお待ちしています。

上記以外でも、業務資料や仕事ネタ、
日々の雑感、詩・短歌などあなたの原稿大歓迎。
事務局までご投稿ください。

編集後記

海山の恋しい季節、

兵庫県行政書士会 阪神支部ニュース「きざし」第二弾 108号が無事発行に至りました。

ありがたくも好評をいただいた前号のプレッシャーも少しありましたが、
支部会員の皆様のご協力により内外ともに楽しんでいただける紙面に仕上がったのではと感じております。
いかがでしょうか? 今後もあたたかいご意見ご感想をお待ちしております。

広報部 田中保子（広報担当 副支部長） 酒井ひろみ（理事） 林健仁（理事） 秋山加代（本会通信員）

発行者



兵庫県行政書士会
阪神支部

〒661-0025 尼崎市立花町3丁目29-12-101
TEL: 06-6426-5123 FAX: 06-6426-5125
ホームページ <http://hanshin.hyogokai.or.jp>

発行日 平成24年7月31日